

# だっこするよ

2023年11月



社会福祉法人茂原高師保育園  
北区立赤羽台保育園  
園長 奥戸 昌子

## 五感を通して、火起こしを楽しもう！

お月様が美しい季節ですね。先日は、満月。歩道にもほんのりと月明り…冷えた空気と共に月の輝きに吸い込まれそうでした。この月は、戦火で逃げ惑う中東でも美しく輝いているのでしょうか。

ガザ地区の極限の状況、地上作戦も始まり、子どもの亡骸を抱きしめ泣き叫ぶ報道を目にすると、報復の連鎖を止め、一日も早い平和解決を願うばかりです。世界は、共生から分断へと進むのでしょうか。関心をもって見ていきたいです。

4、5歳児さんは、11月赤羽自然観察公園の野外炉で、焼き芋パーティーを開きます。芋掘り遠足、そして、火を起こして、秋の収穫を味わいます。保護者ボランティアさんのご協力をいただき、安全第一で楽しみたいと思います。焼き芋パーティーは、子ども達の環境教育としても考えています。「火」の仕組み、安全、燃えるために何が必要か、そして、どんな材料をどう使うかを学びながら、燃料となる枝を集めて、芋を焼く…非日常の体験となります。

マッチ体験、枝を組む、燃やす流れをグループで協力して行います。その時間、どんな風に子ども達は火と向き合うのでしょうか。それは、一人ひとり違うと思います。火と触れる時間をゆっくりと持たせてあげたいと思います。そうして、少しの風でも揺らぐ炎、温かさや熱さ、怖さ、薪が燃える音、煙が目目に沁みること、その匂いなど全身の五感で火の不思議さや怖さなど様々な感じて欲しいです。私は、五感を使った原

体験こそ、心にも刻まれ、本物の知識に繋がると思います。自分の力を試し、皆で働き、互いに助け合う、自分達で考えて、最後までやり遂げること、子ども達の主体的な活動へ。小さな科学者達は、きっと火起こしを成功させて、仲間と美味しい焼き芋を楽しむでしょう。

私達大人の役割は、その取り組みをどう見守るか…手を出し過ぎると「結果」が全てだと学んでしまいます。主役は子ども達、「全部自分たちでやってみたい」という子どもの権利を尊重して、善きガイドになりましょう。子ども達のつぶやきを聴きながら寄り添ってくださいね。

そして、子ども達を元気にする言葉は、「いいね」「有難う」「大丈夫だよ」「ナイスチャレンジ」の4つです。更に、子どもたちが困っていたら「どうしたの?」「貴方はどうしたい?」「私に出来ることある?」この3つを声掛けていきましょう。大人にとっても、子ども達の姿から育むことを学ぶ時間にしたいですね。

さて、園では、日本民族の伝承文化であるわらべうたを母語教育と考えると、全クラス、毎日遊んでいます。遊びながら、心を通い合わせて、友達とつながり、普段の生活での関わりも深まっています。ひよこ組さんも歌い始めると、体でリズムを取り始めて、膝ののってきたくて、私を暖かく迎えてくれます。とても対等です。わらべうたは、「貴方が生まれて嬉しいよ」「大事な子だよ」という民族のメッセージ、愛情や生活の知恵が歌詞に織り込められています。私がわらべうたで伝えたいのは「一人ひとりが大切な存在だよ」と「人間は人と人とのつながりで生きているよ」ということなんだと改めて思いました。

先日、第50回日本橋京橋祭りの郡上踊りの輪に参加しました。初めに全国16都道府県から演舞でパレード、阿波踊りにエイサー、花笠音頭と素晴らしかったです。お囃子がなり、歌い始めると、その場にいた観客も混じって、次々と踊り続ける高揚感を体験しました。お祭りは、収穫に感謝や盆踊りは先祖を奉るなどと、共同体の絆を結ぶなど大切な文化ですね。民謡踊りの感覚は、わらべうたに似ていると思いました。8曲をどんどん踊り続ける人生の先輩たちの気力と体力に驚きました。焼き芋パーティーでも皆で混じり合ってわらべうたを楽しみましょう。写真4歳芋ほり遠足